

## 福岡県筑後地区のある整形外科病院における肝炎ウイルス感染状況

研究分担者：井出 達也 久留米大学医学部内科学講座 教授

**研究要旨：**手術などに際して、HBs 抗原やHCV 抗体を測定することがあるが、陽性であっても説明されなかったり、肝臓専門医へ紹介されないことがある。これまで眼科にて、陽性者へのアドバイスやリーフレットの作成などを行い、一定の成果が得られた。一方整形外科も手術が多く、眼科に続き今後整形外科での展開を考えている。今回は、プレリミナリー的に一つの整形外科にて調査を行い、肝炎ウイルス陽性率などを検討した。最近のC型肝炎抗体陽性率は、3%台、HBs 抗原陽性率は、1%前後であった。年齢は、C型肝炎では高齢者が高く、B型肝炎では非高齢者にも認められた。このことから整形外科でも陽性率が高く、陽性者への介入を行なっていく必要があると思われる、今回のデータを元に、今後整形外科での展開を考えていきたい。

### A. 研究目的

手術などに際して、HBs 抗原やHCV 抗体を測定することがあるが、陽性であっても説明されなかったり、肝臓専門医へ紹介されない例がある。高齢者が多く手術も多い診療科で、肝炎ウイルス陽性率が高いのは、眼科や整形外科であることがわかっている。眼科に関しては、眼科医会を通じて肝炎ウイルス拾い上げをこれまで行なってきた。今後はそれを整形外科でも行なっていきたいと考えている。そこで今回は事前調査として福岡県筑後地区で開業しているある整形外科病院を調査し、どの程度肝炎ウイルス患者が存在するのかを検討し、今後の研究に寄与することが目的である。

### B. 研究方法

福岡県筑後地区にある N 整形外科病院で調査を行った。N 病院は、病床数 124 床で年間約 1,000 例の手術を行っている。内科系の常勤医師は不在であるが、週 1 回勤務の内科系医師が 3 人いる。手術前には、HBs 抗原、HCV 抗体を全員に測定している。2017 年から 2023 年途中までで、測定された検査結果を集積し、年齢分布、HCV 抗体力価を調査、検討した。なおカルテの電子化などで

一部検討できないところがあり、また調査にはもれもあるため、検査数は年によりばらつきがあるため参考値と考え、陽性率を主に検討した。

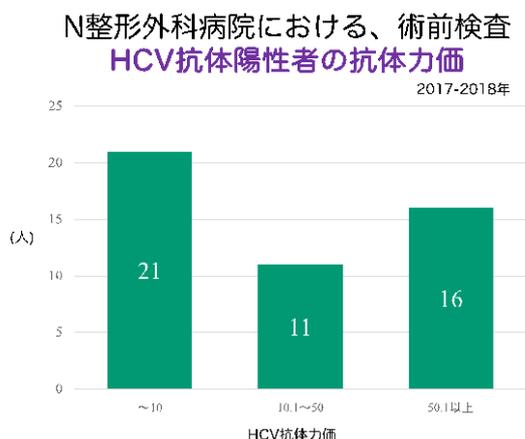
### C. 研究結果

N 整形外科病院における HCV 抗体陽性率の年次推移を示す。2017-2018 年は 4%を超えていたが、2019 年以降は 3%台となっている。

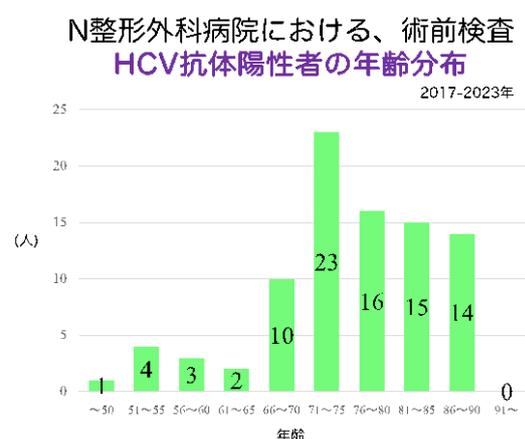
N整形外科病院における、術前検査  
HCV抗体陽性率



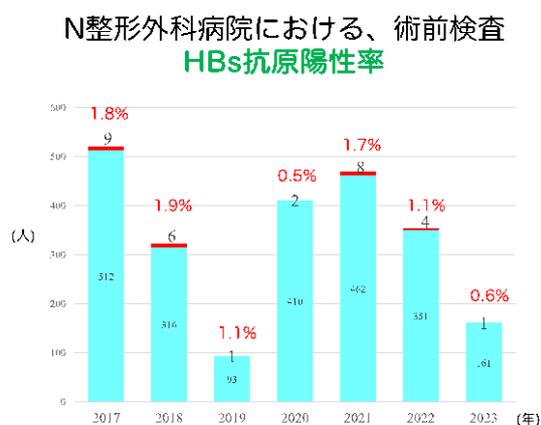
次に 2017-2018 年の計 48 例の HCV 抗体力価を示す。HCV 抗体低力価が 44%、高力価が 33%であった。



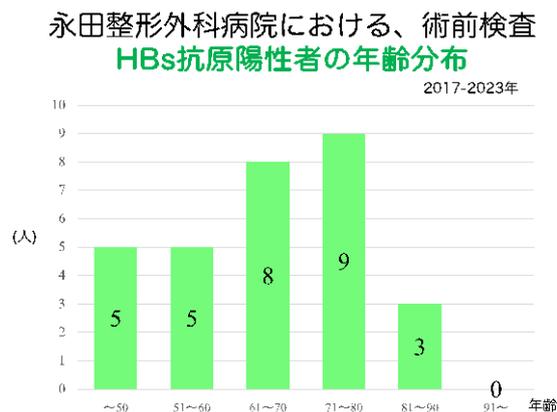
次に HCV 抗体陽性者の年齢分布をみると 71-75 歳で最も高く、高齢者に多いことがわかる。



HBs 抗原陽性率の年次推移を示す。全体的にはあまり陽性率に変化はないが、2017-2018年に比べると2022-2023年はやや低下傾向にある。



次に HBs 抗原陽性者の年齢分布をみると 71-75 歳で最も高いが、HCV 抗体とは異なり、非高齢者でも陽性者が多かった。



#### D. 考察

今回の検討は、N 整形外科病院における術前の肝炎ウイルス陽性率を検討したが、C 型肝炎の陽性率が高く、また HCV 抗体低力価が 44%、高力価が 33%であることから、およそ、40%くらいが HCV RNA 陽性と推測されるので、患者全体で見た場合、およそ 1.2%が、HCV RNA 陽性と推測され、全国と比較するとかなりの高率と思われる。もともとの地区は HCV 抗体陽性率がかなり高値の地区であったが、現在でもこれだけ高い陽性率がありまた高齢者が多いことから肝癌などへ進展している例が存在することも、推測されるので、早急な対応が必要と考えられる。

B 型肝炎の年次推移は、ほぼ変わらなかったが、最近は少し減少傾向にあるようである。ただ C 型肝炎と異なり非高齢者にも陽性者が多く、こちらも早急な対策が必要と考えられる。

この病院においては、筆者が定期的に勤務しているため、肝炎ウイルス陽性者はチェックし必要に応じ紹介など対処を行っているため陽性患者の対処は問題ない。

#### E. 結論

将来整形外科領域においても肝炎ウイルス陽性者を専門医へ結びつける施策を考えているため、今回はある病院でのプレリミナリーな調査を行ったところ、一定数で患者がいることが判明した。今後さらに他の

整形外科にても肝炎ウイルス陽性患者の対策を検討していくこととした。

## F. 政策提言および実務活動

### <政策提言>

厚生労働科学研究費・肝炎等克服政策研究事業「新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究班」(R2-4)、厚生労働科学研究費・肝炎等克服政策研究事業「職域等も含めた肝炎ウイルス検査受検率向上と陽性者の効率的なフォローアップシステムの開発・実用化に向けた研究」(H29-R1)の班員として研究活動を行い、その成果として福岡県および各市から福岡県の受検状況や精密検査受診状況を聴取し解析した。その結果より、検診受検率や精密検査受診率上昇のための工夫などを提案した。

### <研究活動に関連した実務活動>

上記の研究班活動に加えて、久留米大学消化器内科、久留米大学医療センター、久留米大学肝疾患相談支援センターのセンター長として、肝炎に関する総合的な施策の推進活動に携わっている。更に福岡県の肝炎対策委員として、県肝炎ウイルス対策部署と連携し、肝炎撲滅対策に取り組んでいる。

## G. 研究発表

### 1. 発表論文

- 井上泰輔, 井出達也, 内田義人, 小川浩司, 井上貴子, 末次淳, 池上正, 瀬戸山博子, 井上淳, 柿崎暁, 榎本大, 立木 佐知子, 遠藤美月, 永田賢治, 是永匡紹  
拠点病院以外の肝疾患専門医療機関における院内肝炎ウイルス陽性者対策調査  
肝臓 2023, 64, 12 P649-652

### 2. 学会発表

なし

## 3. その他

### 啓発資材

なし

### 啓発活動

\*井出達也：講演「B型、C型肝炎 あなたは大丈夫？」市民公開講座、令和5年10月21日 主催：福岡県肝疾患相談支援センター

## H. 知的財産権の出願・登録状況

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

なし

### 3. その他

なし